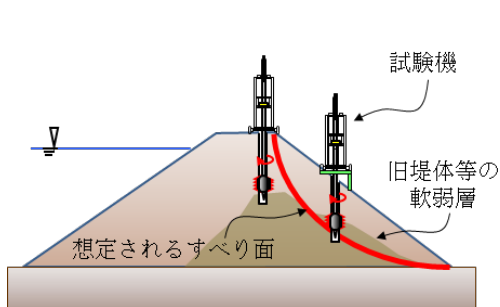


# ため池等の盛土斜面の簡易な原位置せん断強度試験法

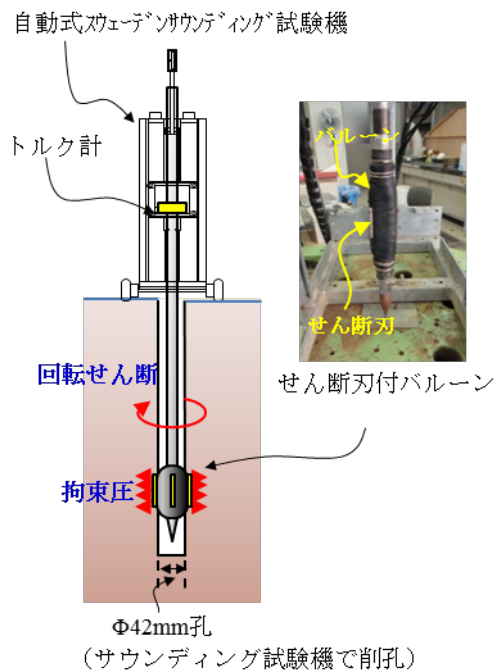
ため池等の盛土斜面の耐震診断や豪雨時の安定性診断に必要な強度定数を原位置で低コストかつ簡便に求める技術

## 試験法の概要

- 盛土斜面の耐震診断や豪雨時の安定性評価に必要な強度定数を求めるため、従来の調査技術では、ボーリングによる試料採取と室内せん断試験が不可欠であり、調査に多大のコストと時間を要している。
- 軽量のサウンディング試験機を用い、強度係数を原位置で低コストかつ簡便に調査する試験法を開発。



調査のイメージ図



サウンディング試験機の概要



①搬入



②堤体斜面での調査

サウンディング試験器による調査風景

## 適用範囲:

- 斜面高さ(ため池では堤高)20mまでの盛土斜面において、想定すべり面深度10mまでの試験が可能。
- 玉石を多く含む地盤(N値5以上)では試験が困難な場合がある。

## メリット:

- 原位置で強度定数を得ることができる。従来の方法(ボーリング+室内せん断試験)と同等の試験結果が得られる。
- 従来の方法の約1/2のコスト。さらに、機械搬入等の間接経費を大幅に縮減できる。
- 機械が軽量なため、アクセスの悪い場所では特に威力を発揮。

## 期待される効果

東日本大震災により被災したため池において盛土斜面の耐震診断、豪雨時の安定性診断に活用可能。